

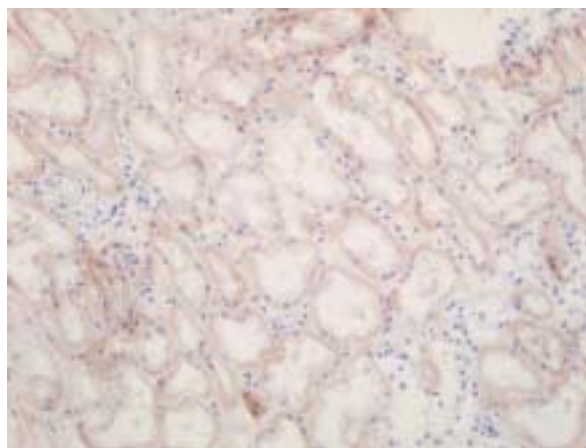
抗ヒト 有機アニオントランスポーター2(OAT2) ポリクローナル抗体

薬物及びその代謝物の膜輸送に関与する薬物トランスポーターは、基質認識の多様性等から、さまざまなトランスポーターに分類されています。特に、有機アニオン、同カチオン、両性イオンの3つのトランスポーターファミリーより構成される有機アニオントランスポーターファミリーでは、輸送基質として極めて多種類の内因性、外因性有機物質(薬物や異物)およびその代謝物を含み、薬物の体内動態の理解には重要で、その輸送基質の多くは有機アニオンに属しています。

この中で、ヒトの有機アニオントランスポーター2(organic anion transporter2:OAT2)は、548 アミノ酸残基からなる12回膜貫通型の膜蛋白で、肝臓に強く発現し、腎臓には弱く発現しています。また、OAT2は、Na⁺非依存的にサリチル酸および α -ケトグルタル酸やそのほかにプロスタグランジン E₂、メソトレキセート、アセチルサリチル酸、PAH (γ -aminohippurate)を輸送します。

本抗体は、免疫組織化学的な解析に有用であることが確認されています。

容量	25 μ g (250 μ L/vial)
形状	ウサギポリクローナル抗体 0.1mg/mL、凍結品
バッファー	PBS [2%ブロッカー(安定化蛋白)、0.1%proclin 含有]
保管方法	-20℃以下 抗体を低濃度にて冷蔵保管されますと、失活する恐れがあります。 融解後は4℃で保存し、お早めにご使用下さい。 また凍結融解を繰り返すことは避けて下さい。
製造方法	ヒト OAT2 の C 末ペプチドで免疫して得られたウサギの抗血清より、ペプチドアフィニティーカラムにて精製。
使用濃度	免疫染色: 5 μ g/mL
HGNC 名 ()	SLC22A7 (Solute Carrier superfamily 22A7) HGNC:Human Gene Nomenclature Committee



ヒト腎臓 (凍結切片)

抗ヒト 有機アニオントランスポーター2(OAT2) ポリクローナル抗体

【参考文献】

1. Sekine T., Cha S.H., Tsuda M., Apiwattanakul N., Nakajima N., Kanai Y., Endou H.:Identification of multispecific organic anion transporter 2 expressed predominantly in the liver. *FEBS Letters* 429 .179-182, 1998
2. Sekine T., Cha S.H., Kanai Y.and Endou H.:Molecular biology of multispecific organic anion transporter family (OAT family). *Clin.Exp.Nephrol.*3.237-243, 1999
3. Sekine T., Cha S.H.and Endou H.:The multispecific organic anion transporter (OAT) family. *pflugers Arch-Eur.J.Physiol.*440.337-350,2000
4. Endou H.:Molecular mechanisms of drug transport.(薬物輸送の分子機序). *Folia Pharmacol. Jpn.* 116. 114-124, 2000
5. 蛋白質 核酸 酵素 46(5) 583-586,2001

製造元



〒650-0047 兵庫県神戸市中央区港島南町 7-1-14

TEL: 078-306-0295 FAX:078-306-0296

URL:<http://www.transgenic.co.jp> techstaff@transgenic.co.jp